

# Step by step

～雨だれ石をも穿つ～

学力向上推進通信

第7号

R7.10.9

発行者:学推担当 仲村智

## 「ビリギャル」に学ぶ

今年度も半分が過ぎ、中だるみすることなく1年の折り返し点をゴールに向かって顔をあげ走り続けていることができているでしょうか？年度当初に期待感に胸をふくらませ、なりたい自分として立てた個人の目標に少しでも近づくことはできているでしょうか？もしかしたら「残念ながら自分は足踏みしてしまって大して成長していない☹️」と感じてる生徒もいるかも知れません。でも大丈夫！！まだ半分も残っているじゃないですか😊取り戻す時間は充分にあります！特に3年生にとっては高校入試に向けて正念場の時期を迎えたと言えます。1時間1時間の授業に集中して取り組み、共に学び合っていきましょう。それぞれの夢実現に向けて着実な一歩を！！

そんな気合の入りまくってるであろう皆さんにぜひ「ビリギャル」の必勝法を紹介したいと思います。皆さんは「ビリギャル」を知っていますか？

『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』で2013年に書籍化され、2015年には『映画 ビリギャル』と題して映画化されています。素行不良のギャルであり、高校2年生で小学4年生程度の学力しかなかった少女「さやか」が、坪田先生の指導を受け、周りとの助け合い学力を上昇させ私立大学最高峰の一つである慶應義塾大学に現役合格するまでを描いた実話です。なぜ、こんな奇跡のようなことが実現したのか、さやかを指導した坪田先生は、さやかの性格のなせる技だと言っています。

例えば、入塾後最初のテスト。「strong」は「話が長い(storyがlongだから)」と答えたり、「聖徳太子」は「せいとくたこ」と読み「太った女の子」と答えたり珍解答の連続で全教科0点でした。しかし、空欄は一つもなく、解答欄は全て埋められていました。これは、何事に対しても自分のできることを精一杯やろうとする、さやかの誠実な性格の表れで、この姿勢は最後まで変わることはありませんでした。

また、さやかはとてもまじめな性格で、約束したことは必ず守ります。1年余りの間、塾をサボることは1日もありませんでした。これは坪田先生との信頼関係を強くするとともに、坪田先生に「この子を絶対に合格させたい」という気持ちを抱かせたと言っています。そしてその姿は周囲の多くの人たちに応援したいという気持ちを呼び起こさせ、色々な場面で色々な人が支えてくれるのでした。

そして何よりさやかは、間違えを恐れずどんなことでも聞くことができる、そして人の言葉を聞き入れることができる素直な心を持っているのです。これは「分からないこと」を自分で明確にできる力であり、人の言葉や物事の本質を理解し吸収する力であり、人として良い方向に成長していける大きな力なのです。



*Where there is a will, there is a way.* 意志あるところに道は開ける

諦めたら  
そこで  
試合終了だよ



みなさん、いかがですか？

多くの人が今、新たな決意を胸に頑張っていると思います。ですが、努力しているのに結果がついてこない自分自身にイライラして、やる気をなくしている人もいるかもしれません。そんなときでも自分を大切に、自分を信じて続けていくことで道は開けてくることを、多くの人が証明しているのです。学校生活での授業や部活動など、あらゆる場面で自分をしっかりと持ち、目標の実現のために努力してほしいです。

そして「さやか」のように、必ず目標を達成させてほしいと願っています。この南風原中学校での学校生活が充実した3年間となるよう最後の半年を仕上げましょう。